

1

私たちの町の樹木

香川県は古くより人間がたえず伐採や落ち葉かきなど、里山に手を加えることが盛んに行われてきた地域のため、人工的に作られた森林が多く、自然林は県の面積の0.4%程度です。しかし、人工、自然林のどちらをとっても地域との調和を保ちながら緑を保っています。ここで紹介している樹木は、「香川県の巨木」や「香川の保存木」として保護されているいくつかの樹木です。それぞれが地域で大切に保護されています。



ししじま
志々島の大きくす

映画「機関車先生」のロケ地である志々島の北東に開けた谷間に生えている。クスノキとして県内で最大の幹回り（14m）で、樹高も40mほどある。（詫間町志々島：県指定天然記念物）



けいだい
善通寺境内の大クス

善通寺境内に生えており、弘法大師が幼少の頃にすでに大木であったといわれている。境内にはもう1本クスノキの大木が見られる。（善通寺市善通寺町：県指定天然記念物）



琴平町の大センダン

琴平町の観光バス乗降場の真中に生えている。センダンとしては全国的にも有名である。

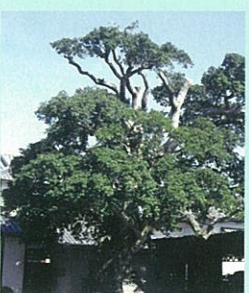
（琴平町：国指定天然記念物）



ひえ
日枝神社のクス

日枝神社の本殿右側に生えている。このクスノキは、国道11号からすぐ目につくほどの高木である。

（観音寺市柞田町：県指定天然記念物）



そうりんじ
宗林寺のクロガネモチ

境内に雄株と雌株の2本が生えている。参道の右側にある雄株の方がひとまわり大きく、指定されている。

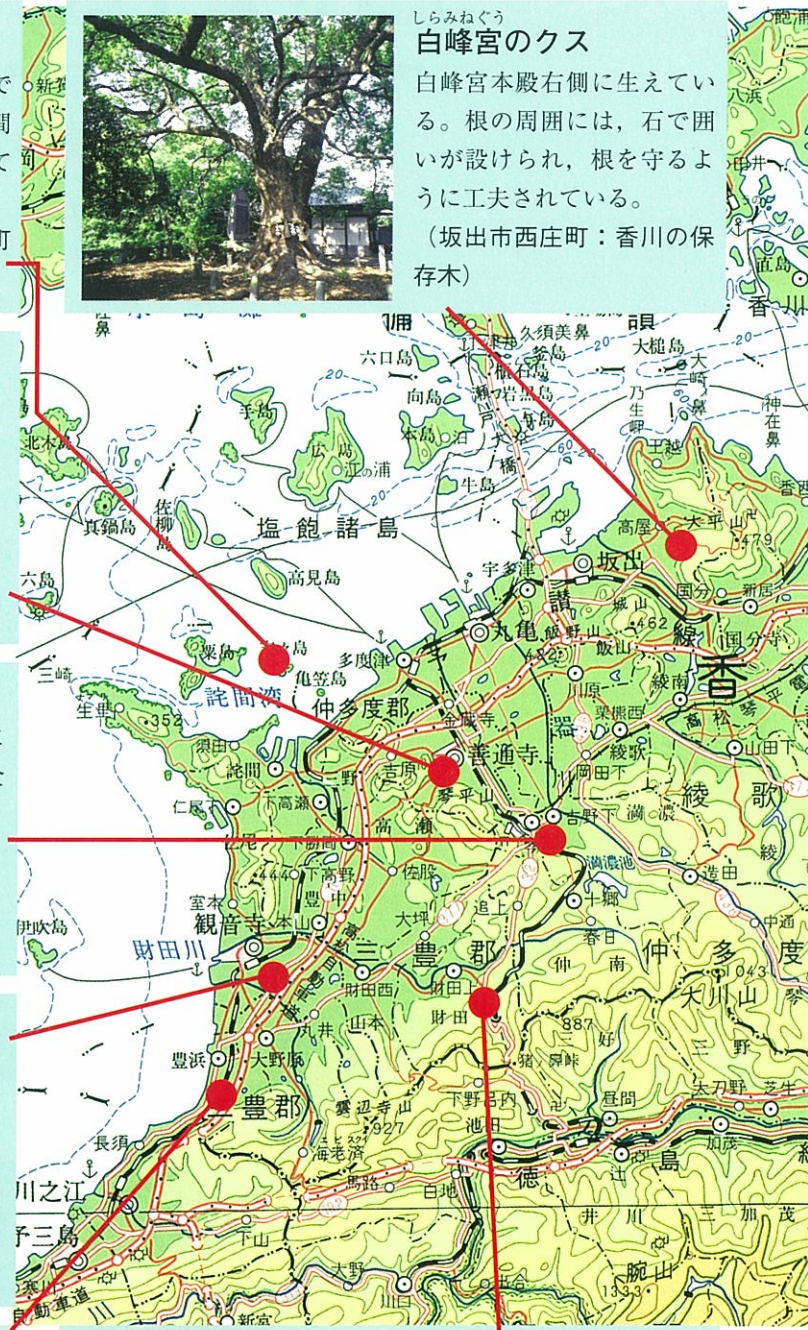
（豊浜町和田浜：香川の保存木）



しらみねぐわ
白峰宮のクス

白峰宮本殿右側に生えている。根の周囲には、石で囲いが設けられ、根を守るように工夫されている。

（坂出市西庄町：香川の保存木）



さいた
財田駅前のタブノキ

JR財田駅前広場のシンボルとして生えている。樹高は低いですが、枝葉の広がり直径15mもある。

（財田町財田上：香川の保存木）

○巨木の基準とは？

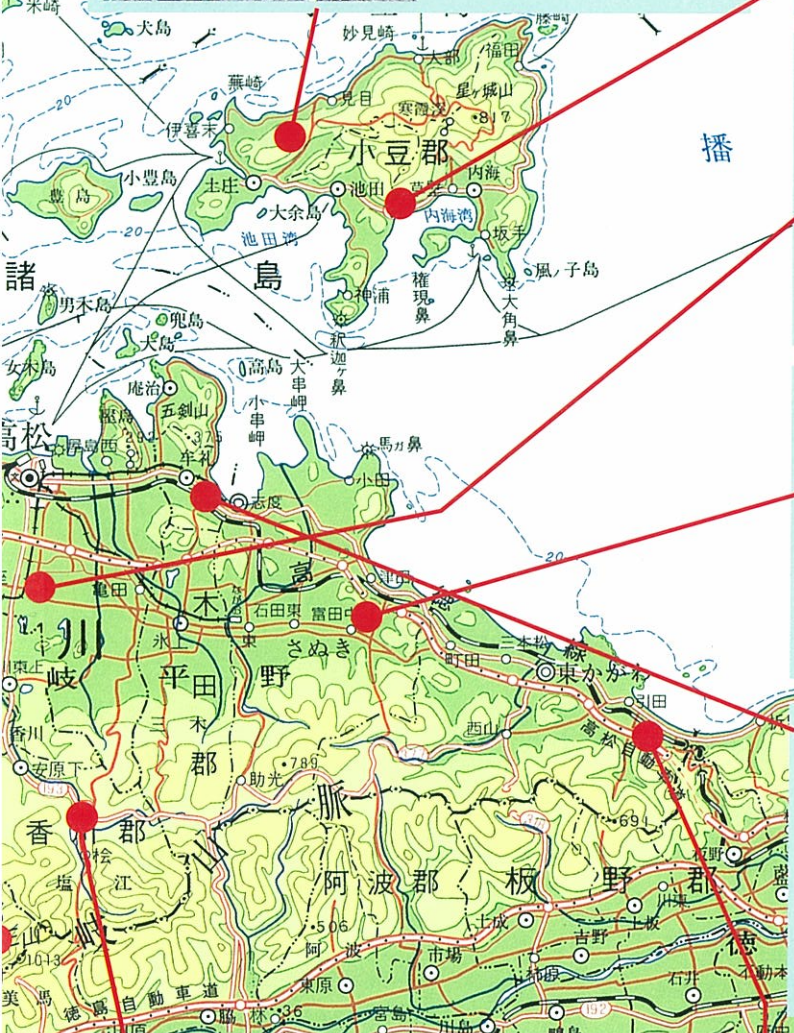
巨木というのは、地面から1.3mの高さで幹の周りを測ったとき、3m以上あるものを一般にいいます。



ほうしょういん
宝生院のシンパク
シンパクとしては日本で最大の老巨樹で、樹齢は1500年といわれている。シンパクは別名イブキ、ビャクシンとも呼ばれヒノキの仲間である。(土庄町瀨崎：国指定特別天然記念物)



オリーブ園のオリーブ
日本で最初にオリーブの栽培に成功したのが小豆島であり、その時の原木である。オリーブ園内に生えている。
(内海町西村：香川の保存木)



まなべてい
真鍋邸のエノキ
太田中学校より南方の真鍋邸内に生えている。枝は県道を覆うほどの広がりを持つ。
(高松市太田上町：香川の保存木)



とみだ
富田神社のクスノキ
東讃地区のクスノキとしては最大である。枝の先は手が届くほどの高さにある。
(さぬき市大川富田中：香川の保存木)



牟礼小学校のユーカリ
牟礼小学校の運動場の真中に生えている。ユーカリとしては県内第1位の大きさである。
(牟礼町大町：香川の保存木)



いわぶ
岩部八幡のイチヨウ
塩江中学校の近くの岩部八幡宮の山門に2本生えている。どちらの木とも雌株であり、秋には銀杏(イチヨウの種子)がたくさんとれる。
(塩江町安原上：県指定天然記念物)



くれば
黒羽神社のホルトノキ
平賀源内がオリーブの木と間違えたいきさつから、この樹木名がついたとされる。
(東かがわ市引田黒羽：香川の保存木)



すきおう
杉王神社のスギ
スギとしては県内最大である。幹には空洞があり、昔は子どもたちが中に入って遊んでいたという。
(琴南町川東：県指定天然記念物)

調べてみよう

みなさんの住む町にも、指定を受けていなくても巨木は必ずあります。町史などを使ったり、地域の人々に聞いたりして調べてみましょう。また、各市町には、その町にゆかりの市町木が決められています。あなたの町の樹木は何でしょうか。